

PAT-NO: JP358170510A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 58170510 A

TITLE: GARBAGE TREATING MACHINE

PUBN-DATE: October 7, 1983

INVENTOR-INFORMATION:

NAME
TSUSAKA, HARUNARI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD	COUNTRY N/A
---------------------------------------	----------------

APPL-NO: JP57054350

APPL-DATE: March 31, 1982

INT-CL (IPC): B01D035/02

ABSTRACT:

PURPOSE: To make it possible to separate garbage, by rotating a rotary vane in such a state that a strainer communicated with a drain pipe connected to the drain port of a sink tank and a drilled hole connected to a garbage discharge pipe are arranged.

CONSTITUTION: A sink tank 1 connects a drain pipe 2 in a downwardly suspended form and, to the lower end part of the drain pipe 2, a strainer 7 communicated with a drain trap 8 and a drilled hole communicated with a garbage discharge pipe 10 having a rubber bag 9 mounted thereto are arranged through a

separation apparatus 3. The separation apparatus 3 is formed by eccentrically arranging a rotary vane 4 in a rotary compression chamber. This rotary vane is rotated to the side of the drilled hole from the side of the strainer manually or by a motor in such a state that the leading end thereof is contacted with the inner wall of the compression chamber. Therefor, only by flowing garbage and drain water together, the garbage can be taken out in a dehydrated and compressed state suitable for the disposal thereof.

COPYRIGHT: (C)1983,JPO&Japio

⑯ 日本国特許庁 (JP) ⑰ 特許出願公開
⑰ 公開特許公報 (A) 昭58-170510

⑮ Int. Cl.³
B 01 D 35/02

識別記号 廷内整理番号
2111-4D

⑯ 公開 昭和58年(1983)10月7日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑩ 廚芥処理機

⑪ 特願 昭57-54350
⑫ 出願 昭57(1982)3月31日
⑬ 発明者 津坂治成

門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

⑭ 出願人 松下電工株式会社
門真市大字門真1048番地
⑮ 代理人 弁理士 竹元敏丸 外2名

明細書

1. 発明の名称

厨芥処理機

2. 特許請求の範囲

(1) 流し槽(1)の排水孔(2a)に分離装置を介して排水管と厨芥排出管を壁下接続してなる厨芥処理機において、ロータリー圧縮室の底部一侧にストレーナ、他側に穿孔を配すると共にロータリーベーンをストレーナ側に偏心して該ストレーナ側から穿孔側に回転するように配して分離装置を形成し、該分離装置のストレーナに排水トラップを壁下接続すると共に穿孔に厨芥排出管を壁下接続して成る厨芥処理機。

3. 発明の詳細な説明

この発明は流し槽(1)の排水孔(2)と排水トラップ(8)間に厨芥の分離装置(3)を設けた簡易な厨芥処理機に係る。

以下この発明を第1図乃至第4図に示す実施例に基づき説明する。

流し槽(1)は排水孔(2a)に排水管(2)を壁下接続せる。

排水管(2)の下端部は分離装置(3)を介して排水トラップ(8)と厨芥排出管(10)を接続せる。

厨芥排出管(10)の下部にはゴム袋(9)が接続装着されている。

分離装置(3)はロータリー圧縮室(3a)内にロータリーベーン(4)を偏心配置させる。

ロータリー圧縮室(3a)の底部一侧にはストレーナ(7)が配され、該ストレーナ(7)には排水トラップ(8)に接続され、底部他側には穿孔(10a)を介して厨芥排出管(10)が接続されている。

ロータリーベーン(4)はロータリー圧縮室(3a)内においてストレーナ(7)側に偏心して設けられている。このロータリーベーン(4)はモーター(図示略)あるいは手動で回転され、その先端はロータリー圧縮室(3a)内壁に当接してストレーナ(7)側から穿孔(10a)側へ指動回転する。

而して流し槽(1)より厨芥とともに排水すると共にロータリーベーン(4)を回転させると、排水及び

厨芥はロータリーベーン(4)間に入りそのまま回転されストレーナ(7)に近づくと共に圧縮され、排水はストレーナ(7)より排水トラップ(8)に流し出され、一方厨芥(11)は圧縮された状態で穿孔(10a)より厨芥排出管(10)へ排出される。

ごみ袋(9)に堆積した厨芥(11)は適宜捨てられる。

以上のようにこの発明によれば流し槽(1)内に生じた厨芥を排水と共に排水孔(2a)より流し出すのみで厨芥のみを捨てるに適した脱水、圧縮状態で取り出すことができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図乃至第4図はこの発明の一実施例を示す断面図である。

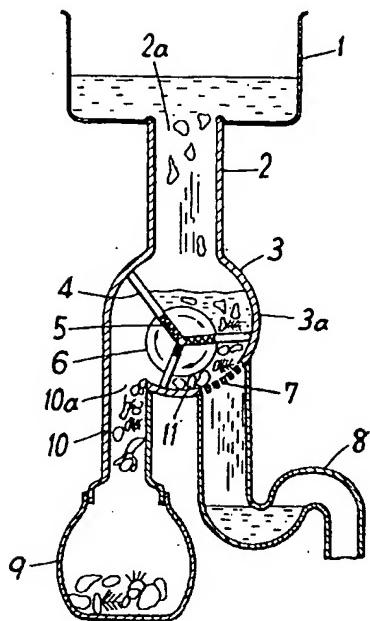
特許出願人

松下電工株式会社

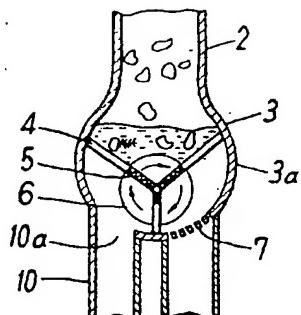
代理人弁理士 竹元敏丸

(ほか2名)

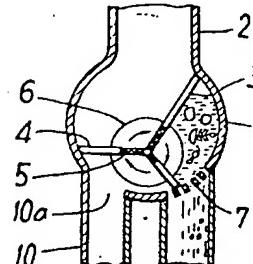
第1図



第2図



第3図



第4図

